

平成28年11月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 安 井 正 浩

そ う せ い 小 松 健

フロンティア秋田 佐 藤 哲 治

市 民 ク ラ ブ 花 田 清 美

公 明 党 成 沢 淳 子

秋 水 会 川 口 雅 丈

そ う せ い 宇 佐 見 康 人

秋 水 会 齊 藤 善 悦

秋 水 会 小 木 田 喜 美 雄

1 市長の政治姿勢について

- (1) これまでの２期８年の市政運営をどのように自己評価するのか
- (2) 今後の市政運営に対する思いと３期目に向かう決意はどうか
- (3) 平成29年度当初予算編成に当たっては、主要施策の進捗に影響を与えないよう配慮すべきであるが、どのように考えているのか

2 議会への説明や市民への情報提供のあり方について

- (1) 重要施策に関する議会への説明のあり方について、その機会や説明内容は十分と考えているのか
- (2) 市民に対して正確かつ必要十分な行政情報を提供し、より開かれた市政運営を推進すべきではないか

3 市職員の意識改革等について

- (1) 執務時間内における庁舎内のコンビニ利用や職員間のあいさつなど、職員のマナーの向上を図る必要があると考えるがどうか
- (2) 市民サービスの向上や地元企業支援等をより意識して、業務に取り組むべきと考えるがどうか

4 補助金交付事業等について

- (1) 補助金交付対象事業の事後管理の必要性や実施方法について、どのように考えているのか
- (2) 企業の経営改善計画策定に対し、市独自の補助制度を創設する考えはないか

5 本市の今後のまちづくりについて

- (1) 多核集約型コンパクトシティを本市が目指すまちづくりの方向性とする間は、市街化調整区域の変更は行わないとの理解でよいのか
- (2) 本市の今後のまちづくりに欠かせない小中学校の適正配置は、修繕

対応の観点からも、その検討は急務であると考えてるかどうか

6 泉・外旭川新駅（仮称）の整備について

- (1) 同駅の設置予定地で実施されている支障物移転調査の概要と進捗状況はどうなっているのか
- (2) 同駅を泉地区のまちづくり拠点施設ととらえて、早急に実現すべきと考えるかどうか

1 次期市長選への出馬について

(1) 2期目の市政運営の総括と次期市長選への出馬の意向について

2 中長期視点における市政運営について

(1) 行財政改革の推進について

ア 改革プランの変遷を踏まえた成果と課題及び今後の方向性について

イ 質が高く、かつ、市民の理解と共感が得られる公共サービスの提供に対する現状認識及び今後の取り組みについて

ウ 財政運営と平成29年度予算編成方針について

(ア) 本市の財政構造の現状をどのように認識しているのか、また、それを踏まえた持続可能な財政運営のあり方について、どのように考えているのか

(イ) 平成29年度予算編成において考慮すべき財政的課題及び重要な行政課題は何か

(2) 緑あふれる新県都プランの総括について

ア 11年にわたる計画期間が終了した同プランの総括結果及び今後の市政運営への反映について

(3) 県・市連携文化施設に関する整備計画（案）、芸術文化ゾーン構想、旧県立美術館の利活用（案）及びまちづくりについて

ア 本計画案等について、市民理解は十分得られているのか

イ 百年の大計であることや本市の現状にかんがみ、芸術文化の振興を戦略資源としてとらえるとともに、本市発展への扉を開くためのイノベーションと位置づけて、「芸術文化立市」や「芸術文化創造都市」を目指すという、明確かつ目標性のある大きな視野に立つビジョンのもとで、これからの時代にふさわしく、かつ、目的達成のために必要不可欠な施設整備や集積のあり方と基本戦略が描かれるべきではないか

ウ 「県・市連携」のねらいと方向性は何か

エ 文化会館及びジョイナスにおける市民活動等の利活用実態をどのように集約・分析しているのか

オ 文化会館の設置目的及びこれまで果たしてきた役割について、どのように把握・集約し、評価しているのか

カ 芸術文化創造の具体は何か

キ 旧県立美術館の利活用が、芸術文化の振興及び芸術文化ゾーン形成のために必要かつ不可欠とされる理由は何か

ク 本計画案等を推進するためのガバナンスとマネジメントについて、どのように考えているのか

ケ 中心市街地のアクセシビリティを含む公共交通ネットワークは、県・市連携文化施設供用開始までに、再構築が図られるべきではないか

(4) 都市内地域分権について

ア 都市内地域分権の目指すところに照らした現状評価、課題及び今後の取り組みの方向について

(5) 秋田市地域福祉計画について

ア 本計画の4つの基本目標の達成に向けた取り組み状況、課題及び今後の方向性について

イ 本計画の推進に当たり、秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画を具体的にどのように反映させていくのか

(6) 商工・労働行政について

ア 商工業の振興と地域の発展に資する商工業振興施策の今後の方向性は、いかにあるべきか

イ ワーク・ライフ・バランス政策に取り組んで10年となるが、本市の労働環境は改善されてきたのか、また、今後、「安心して働き生活できる労働環境」の整備に向け、どのように取り組んでいくのか

(7) 教育行政について

ア 学習指導要領の改訂を控え、本市では、これまで「生きる力を育む教育」にどう取り組んできたのか、また、今後どのように進めて

いくのか

イ これからの時代に期待される教職員像及びその人材育成に向けた
方策について

1 市民からの意見について

- (1) 市民と市長が直接語り合う「市長ふれあいトーク」の内容は、どのように市政に反映されているのか
- (2) 「市長への手紙」の中で、職員の対応について触れているものはあるのか、また、あるとすればその内容はどのようなことか

2 財政状況について

- (1) 平成27年度末の一般会計、特別会計の実質収支及び財政調整基金の残高は幾らか、また、その額について、財政運営上どうとらえているのか
- (2) 本市における市債残高は幾らか、また、今後もふえると予測される市債についてどのような対策を講じていくのか
- (3) 本市の財政状況を類似団体と比較してどう判断しているのか
- (4) 本市の将来負担比率についてはどう分析しているのか

3 きずなでホットしていあきた寄附金（ふるさと納税）について

- (1) 平成25年度は27件の約250万円であり、平成27年度は3,437件の約1億7,000万円と急激にふえたが、その理由は何か、また、今後の目標及び方向性についてどのように考えているのか
- (2) 本市の市民が他都市に寄附している額は幾らか

4 県・市連携文化施設等について

- (1) 県の文化施設は県で整備すべきであり、なぜ本市と連携して整備しなければならないのか
- (2) この施設に対応できる駐車場をどのように考えているのか
- (3) 県民会館及び文化会館の稼働率及び利用状況はどうか
- (4) 県民会館の所在地に同施設を建てる場合、工事期間中は県民会館を市民は利用することができなくなるがどのように対処するのか

- (5) 文化会館では、催し物があるたびにトイレが大変混雑するため、増設する考えはないのか

5 外旭川地区大型複合商業施設構想等について

- (1) 同複合商業施設については、平成27年11月の検証結果において「雇用創出などのメリットがある」としており、多くの市民も実現を望んでいると思うが、この市民の気持ちをどう受けとめているのか
- (2) 中心市街地における既存商業施設の衰退を危惧しているが、同複合商業施設が進出しなければ、中心市街地のにぎわいはイベントを行わなくても恒常的に確保されるのか
- (3) 市街化調整区域を市街化区域に編入することは可能か

6 秋田版ＣＣＲＣについて

- (1) 秋田版ＣＣＲＣの現状と取り組み状況はどうなっているのか

7 国際教養大学の学生について

- (1) 国際教養大学の学生は、すぐれた語学力等が高く評価されており、本市の財産といっても過言ではないことから、卒業後も、本市に定着するような支援等を検討する考えはないか

8 市町合併後の検証について

- (1) 秋田市が、旧河辺町及び旧雄和町と合併して11年になるが、合併に対する検証は行っているのか、また、報告書を作成し市民に示すべきではないか

9 新庁舎及び職員の執務環境等について

- (1) 新庁舎に対する市民の評価はどうか
- (2) 市民の座における各種アンケート等の設置状況はどうか、また、主なアンケートの内容及び回答状況はどうか
- (3) 労働安全衛生規則では、月に1回以上安全衛生委員会を開催するこ

ととされているが開催状況はどうか

- (4) 県都『あきた』定員適正化プランに基づく正職員の削減により、臨時職員や嘱託職員の負担が大きくなってきていることから、給与の改善等を検討すべきではないか

10 災害時におけるドローンの活用について

- (1) 災害時に救助隊等が入って行けないような場所においてドローンを活用する考えはないか

11 観光行政について

- (1) 本市への観光客の推移及び観光施策による経済効果はどうなっているのか
- (2) 外国人観光客が楽しめる場所として、どのような場所があるのか
- (3) 本市の観光戦略は現在のままでよいのか、また、課題はないのか

12 介護保険制度について

- (1) 認知症患者等については、徘徊行動等や家族の負担が問題になっているが、同患者等やその家族が地域で安心して暮らせるための見守り体制は構築されているのか
- (2) 平成27年度の介護保険法改正による影響について
- ア 介護予防訪問介護及び介護予防通所介護は、市町村が行う「新しい総合事業」へ移行されることになるが、本市における影響等についてはどう考えているのか
- イ 介護予防ケアマネジメントについては委託することになるが、対象者の把握や全体的なサービス実施状況の管理は市が行うべきと思うがどうか
- ウ 高額介護サービス費の月々の負担上限について、「現役並み所得者に相当する方がいる世帯の方」のみが引き上げられたが、市民の理解は得られているのか

13 少子高齢化問題について

- (1) 本市における少子高齢化の進行が、地域経済や行政に与える影響についてどう分析しているのか、また、どのような対策を講じているのか

14 子育て支援について

- (1) 保育料すべてを無償にするべきではないか
- (2) 小中学校における学校給食費を無料にするべきではないか
- (3) 高校生までの医療費をすべて無料にするべきではないか
- (4) 待機児童の現状と対策はどうなっているのか

15 いじめ問題について

- (1) 小中学校におけるいじめ問題の現状と対策はどうなっているのか

16 農林業等について

- (1) 本市の農林業の将来性についてはどうか、また、米問題やナラ枯れ等の課題についての対策はどうなっているのか
- (2) 2020年東京オリンピック・パラリンピック用に建設される施設に、秋田杉を利用してもらうための取り組みを考えてはどうか

17 通学路について

- (1) 広面小学校前の「通学路標示」の路面標示が薄くなっているなど、安全面から早急に対処しなければならない通学路があるが、市内各小中学校の通学路の安全対策はどのように行っているのか

18 定期バス路線について

- (1) 定期バス路線が減少傾向にあり、市民の交通の利便性に影響を及ぼしていると思うが、市としてどう考えているのか

19 犬猫の殺処分について

- (1) 県では第2次動物愛護管理推進計画において、平成37年度までに犬猫の殺処分数をゼロにする目標を掲げているが、本市ではどのように取り組んでいくのか

20 河辺岩見温泉交流センターについて

- (1) 事業の目的及び運営方針について
- (2) 同センターは市民の憩いの場であると思うが、利用者へのアンケート等を行い、運営に反映させる考えはないのか

21 岩見三内クリニックについて

- (1) 再開に向けてのこれまでの取り組み状況と今後の見通しについて

1 地方創生について

- (1) 秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく事業等について、今後どのように検証を行っていくのか
- (2) 地方創生に向けた地元金融機関との連携について、今後どのように推進していくのか

2 きずなでホットしていききた寄附金（ふるさと納税）について

- (1) 今年度の寄附の状況と今後の見通しはどうか
- (2) 本市の謝礼品の特徴や魅力をどのようにとらえているのか

3 秋田市公共施設等総合管理計画について

- (1) 同計画策定に係るスケジュールと現在の進捗状況はどうか
- (2) 公共施設等の今後のあり方について、どのようにして方向性を定めていくのか

4 市営墓地について

- (1) 今後の市営墓地の整備方針はどうか
- (2) 市営墓地に合葬式墓地を整備する予定はないか
- (3) 市営墓地の除雪については、どのように考えているのか

5 介護保険について

- (1) 施設サービス及び居宅サービスにおけるそれぞれの利用者数、給付額及び給付額の全体に占める割合はどうか
- (2) 居宅サービス利用者の家族が抱える負担に対し、本市独自の支援策を講ずるべきと思うがどうか

6 自殺対策について

- (1) 自殺対策基本法第17条第1項に規定されている、「学校の教職員等

に対する国民の心の健康の保持に関する研修の機会の確保等」について、どのように取り組んでいくのか

(2) 同条第3項に規定されている、「困難な事態、強い心理的負担を受けた場合等における対処の仕方を身に付ける等のための教育又は啓発」について、どのように取り組んでいくのか

(3) 本市の自殺未遂者に対する支援の現状はどうか、また、自殺対策における自殺未遂者に対する支援の位置づけはどうか

(4) 市長は、自殺対策の重要性をどのようにとらえ、その対策にどのようにかかわろうとしているのか

7 地球温暖化対策について

(1) 市として中小企業の省エネルギー対策への支援策を講ずる必要があると思うがどうか

8 中心市街地の活性化について

(1) 秋田県警察運転免許センターにおける運転免許証の更新手続きを中心市街地でも行えるよう、県と交渉する考えはないか

9 消防法令違反対象物に係る公表制度について

(1) 本市における重大な消防法令違反の防火対象物について、業種別施設件数はどうか、また、現状をどのように認識しているのか

(2) 同制度について、本市における実施時期及びその内容はどうか

(3) 公表後の違反の是正について、どのように考えているのか

10 投票率の向上について

(1) さきの参議院議員通常選挙において、本市における18歳投票率は51.76%、19歳投票率は39.87%であったが、この結果をどうとらえているのか

(2) 病院や茨島、八橋、外旭川などのショッピングエリアに期日前投票所を設置すべきと思うがどうか

- (3) 移動投票所車両による期日前投票所を開設する考えはないか
- (4) 身体に重度の障がいを持つ有権者への対応を充実させるべきと思う
かどうか

1 市長の政治姿勢について

(1) 今後の市政運営について

ア 秋田県ブックリーダーによる「私の一冊」において、市長が紹介している「歎異抄をひらく」に込められた思いをどのように感じ、市長選挙に臨んでいくのか

イ これまでの2期8年における公約達成状況を踏まえ、次の市政運営のかじ取りをどのように思い描いているのか

(2) 事業の検証と予算編成について

ア 成長戦略事業に位置づけられた事業の進捗管理及び成果の検証はどのように行われているのか

イ 成長戦略事業以外の政策経費が削減傾向となっていることに伴う、市民サービスの低下や職員のモチベーションの低下を防ぐため、どのように対応しているのか

(3) 市民サービスセンターの役割について

ア 本庁と各市民サービスセンターのそれぞれの役割を踏まえ、組織としての情報の共有化をどのように図っていくのか、また、都市内地域分権をどう進めていくのか

イ 各市民サービスセンターにおいて、地域に合ったまちづくりを進めるための組織をどう構築していくのか、また、その組織のかなめとなるリーダーの育成をどのように考えていくのか

(4) 企業誘致について

ア 今後成長が期待できる電子・輸送機関連及び医薬・医療機器関連分野の企業誘致の現状はどうか

イ 操業促進助成金等の助成率引き上げや立地環境優遇制度の導入等、さらなる助成内容の拡充が必要と考えるがどうか

(5) 危機管理体制の強化について

ア 危機管理体制の強化に向け、危機管理分野に精通した方を危機管理戦略推進専門官として委嘱する考えはないか

イ　さまざまな事由を想定した課題別危機管理検討プロジェクトチームを立ち上げてはどうか

2 県・市連携文化施設について

- (1) 同施設に関する整備計画（案）では、施設整備費を200億円と想定しているが、今後変更となる可能性はないのか
- (2) 同施設の整備に当たり、設計業務は公募型プロポーザル方式、建築工事は総合評価落札方式により事業者を選定することとしているが、地元事業者が受注できるような手法を考えているのか
- (3) 市民から文化会館の存続や建物の活用を検討すべきとの意見が出されているが、同施設の建設に公共施設最適化事業債を財源として活用する方針に変更はないのか、また、用途廃止後の建物の扱いをいつ判断するのか
- (4) 県民会館が使用できない期間の市民への対応について
 - ア　県民会館利用者が県内の他施設を利用した場合における財政支援を考えているのか
 - イ　文化会館に利用者が集中することも予想されるが、その場合に備え、駐車場の確保等具体的な課題及びその解決策について検討しているのか

3 「芸術文化ゾーン」について

- (1) 同ゾーンの基本コンセプトを明確にするとともに、他関係団体と芸術文化ゾーン推進協議会などを設置しながら着実に検討していくべきと考えるがどうか

4 千秋公園再整備基本計画について

- (1) 同公園の再整備に当たっては、歴史遺産や観光資源としての価値を高める施策の検討が必要であり、そのためには部局横断的な組織の立ち上げが必要になると思うがどうか
- (2) 同計画の策定に当たっては、インバウンド観光も見据えた施設整備

を考える必要があることから、民間活力の導入や関係団体からの意見集約等さまざまな観点から検討すべきと考えるがどうか

5 秋田港を中心としたにぎわいづくりについて

- (1) 土崎神明社祭の曳山行事のユネスコ無形文化遺産登録及び北前船の日本遺産登録申請により土崎地区の活性化が期待されるが、今後、秋田港を中心としたにぎわいづくりをどのように考えていくのか

6 子育て支援について

- (1) 秋田市版ネウボラの推進体制の充実について

ア 保健所内の子ども健康課だけではなく、市民課を初め、各市民サービスセンターや土曜日、日曜日及び祝日も開館している駅東サービスセンターにおいても相談できるよう窓口を整備する考えはないか

イ 相談内容が多様化していることから、庁内の部局間連携のほか関係機関との連携も図るべきと考えるがどうか

- (2) 児童扶養手当について

ア 子供の貧困問題が危惧される中において、ひとり親世帯の実態調査を実施するとともに、同手当の支給回数の変更など受給者にとってのさらなる改善策を国等に働きかけるべきと思うがどうか

- (3) ICTを活用した子育て情報の提供について

ア 本市においても「子育てタウン」のサイトを開設すべきと思うがどうか

7 予防接種とがん検診について

- (1) 小児のおたふく風邪及びインフルエンザのワクチン接種に対し、接種費用の助成を早急に行うべきと考えるがどうか
- (2) 子宮頸がん検診の受診率の向上に向け、割引対象年齢を拡大することを検討してはどうか

8 高齢者施策について

- (1) 要介護認定の申請から認定までの期間が長くなった場合において、介護サービスを受けにくくなるなどの問題は生じていないのか
- (2) 介護保険料の収納率向上策として、口座振替比率を高めていく必要があると思うが、今後どのような取り組みを進めていくのか
- (3) 本市の介護保険システムが平成27年1月に再構築されたが、今後、個人情報の追加が予定されていることなどから、さらなる事務の効率化に向け、外部委託の活用や専門職員の採用等も検討するべきと思うかどうか
- (4) 介護予防事業について
 - ア 訪問型介護予防事業において、利用者数が伸び悩んでいる現状及び課題についてどのように認識しているのか
 - イ 認知症サポーター養成講座において、日常的に高齢者宅を訪れるような郵便局員や新聞配達員等を対象とした講座を積極的に開催するべきと思うかどうか
 - ウ 各公園に設置している介護予防器具の利用状況はどうか、また、利用を促進するための今後の取り組みについてどう考えているのか
- (5) 秋田市エイジフレンドリーパートナー制度の現状認識はどうか、また、今後の展望についてどのように考えているのか
- (6) 秋田県警察本部で実施している運転免許返納高齢者割引タクシー制度について、さらに割引を上乗せするなど、本市独自の支援策を講じる考えはないか

9 大森山公園の整備について

- (1) 同公園内の老朽化した施設や設備の修繕等はどのように進められるのか
- (2) 動物園に自家用車で来園される方からは、駐車台数不足、駐車場から園までの距離が遠いなどで不便との声が寄せられていることから、同公園内の未利用地を活用した一体的な整備が必要と思うかどうか
- (3) 動物園を観光拠点として、にぎわい創出と地域経済に寄与できるよ

う、さらなる施設整備を行う必要があると思うがどうか

10 投票率の向上について

- (1) 高齢者が投票しやすいよう総合病院に期日前投票所を設ける考えはないのか
- (2) 期日前投票所の設置場所ごとに投票時間の弾力的な見直しを行ってはどうか
- (3) 投票日においても利便性の高い場所で投票できるよう共通投票所の設置について検討すべきと考えるがどうか

1 本市のまちづくりについて

- (1) 裁判所合同庁舎、秋田地方法務合同庁舎及び秋田合同庁舎について、建物が老朽化し法定耐用年数も近づいてきていることから、庁舎の建てかえを行う場合は、中心市街地の活性化に資するためにも、現在地ではなく中通・大町地区への移転を国に働きかけてはどうか
- (2) 移転後の土地の活用や八橋運動公園の各スポーツ施設の再配置も含め、防災機能を有した多目的スタジアムやアリーナを建設し、交流人口拡大を見据え、一体的にスポーツゾーンを形成する考えはないか
- (3) 市内7カ所に地域中心となる市民サービスセンターが整備されたことを契機に、多核集約型コンパクトシティを実現させるため、中心市街地商業集積促進事業と類似した制度を本市独自に創設し、中央地域以外の6つの地域に適用させる考えはないか
- (4) 民間による商業用空きビルの利活用を促進するため、補助制度を創設する考えはないか

2 きずなでホットしていあきた寄附金（ふるさと納税）について

- (1) 今年度の歳入見込みはどうか
- (2) 寄附総額の大幅な伸びに伴う謝礼品の取り扱いの増加は、本市の中小企業の活性化につながったのか、また、謝礼品提供事業者の反応はどうか
- (3) 謝礼品のさらなる充実について、今後、どのように取り組んでいくのか
- (4) 企業版ふるさと納税に対する本市の取り組みはどうか

3 新庁舎について

- (1) 開庁後における市民や職員からの要望による改善状況はどうであったのか、また、現段階においても改善すべき課題はあるのか
- (2) 庁舎における執務状況を見ると、執務スペースが狭隘であると感じ

るが、職員の執務に影響はないのか

4 選挙について

- (1) 来春の選挙に向け、投票率の向上を図るためにどのような取り組みをしていくのか
- (2) 今後、投票所に行くことが困難な高齢者の増加が予想されることから、エイジフレンドリーシティを標榜する本市として、町内会単位の期日前投票所を設ける考えはないか

5 下水道事業について

- (1) 現在、秋田駅前において施工中の大規模な下水道工事について、道路陥没等を含む事故発生心配はないのか、また、工事の進捗状況はどのようになっているのか
- (2) 本市の下水道施設に起因する道路陥没への対応策は、どのようになっているのか

1 子育て支援について

- (1) 子育て支援策を積極的に進めるのであれば、第1子から保育料を無償化すべきと思うがどうか
- (2) 秋田市版ネウボラの「秋田市らしさ」とは何か
- (3) 市が実施するすべての事業に「チャイルドフレンドリーシティ」の考え方を取り入れ、「日本一の子育て先進都市」を目指す考えはないか

2 子供の貧困対策について

- (1) 子供の貧困対策に係る施策については、子ども未来部が中心となり、関連する部局でプロジェクトチームを組織して進めていくべきと考えるがどうか
- (2) 貧困の連鎖を断ち切るために、児童養護施設退所者への進学支援等に加え、学習の大切さを保護者に知ってもらうための場を設けるべきと考えるがどうか
- (3) 児童福祉法が改正されたことを機に、本市にも児童相談所を設置すべきと考えるがどうか
- (4) 国においては、2029年度末までに里親の割合を3割程度とする目標を掲げているが、本市としても里親の支援と広報に積極的に取り組んでいくべきと考えるがどうか

3 次世代が地域コミュニティーに参加できる環境づくりについて

- (1) 町内会活動を初め、地域のコミュニティー活動に対する若い世代の参加が少ないと感じるが、市としてどのように認識しているのか、また、その対策について、どのように考えているのか
- (2) 次代を担う子供たちが、地域の中でコミュニティーの担い手として自由に自分の意見を出すことができる場を積極的につくるべきと考えるがどうか

4 県・市連携文化施設に係る駐車場の確保について

- (1) 秋田和洋女子高等学校を移転させてまで整備しようとしている駐車場の稼働率は何％を想定しているのか
- (2) 駐車場については、当初の計画どおり周辺の民間駐車場を活用してもらうことを第一義とし、来館者の回遊性を高める努力をすべきと考えるがどうか

5 スポーツの振興について

- (1) スタジアム建設に向けた市民の機運が高まれば、官民共同で建設を検討する可能性はあるのか
- (2) 2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける事前キャンプ地の誘致に向けて、市民意識を高めるとともに、将来のオリンピック・パラリンピック選手の育成につながるような誘致活動を行うべきと考えるがどうか

6 交通安全対策について

- (1) 近年、通学途中の児童が交通事故に巻き込まれる事案が全国的にふえているが、子供の安全確保の観点から、本市としてどのような対策を講じていくのか
- (2) ゾーン30を徹底してもらうために、よりインパクトの強い表示や案内をすべきと考えるがどうか
- (3) 運転免許を自主返納する高齢者に対して本市としてインセンティブを与えてはどうか

7 防災行政について

- (1) 避難所の運営マニュアルを、地域住民を交えて作成していくべきと考えるがどうか
- (2) アレルギーを持つ子供のための災害食は備蓄されているのか、また、今後、入れかえの際にはアレルギー対策も考慮すべきと考えるがどうか

か

(3) 子供用おむつの備蓄状況は適切であるのか

8 土崎地区と秋田港の振興について

(1) 土崎神明社祭の曳山行事のユネスコ無形文化遺産登録に関連し、今後、本市の観光資源として、同行事をどのように生かしていくのか

(2) (仮称)土崎みなと歴史館には被爆倉庫の一部が展示、保存されることから、他都市の戦争に関連する施設との提携や、中学生や高校生の相互派遣などにより、戦争体験を次世代に語り継ぐ機会をふやしていくべきと考えるがどうか

(3) クルーズ船の寄港に際してはターミナル施設が必要と考えることから、県に対して整備を働きかける考えはないか

(4) ポートタワー・セリオンを中心として、その周辺に回遊性を持たせるような施策を展開していくべきではないか

(5) ポートタワー・セリオンにおける海鮮店舗の営業開始がおくれたことに関して、指定管理者に対する指導は適正であったと考えているのか

9 大森山動物園について

(1) 高病原性鳥インフルエンザウイルスの検出を受け、来園者の安全安心の確保について、どのような対策を講じていくのか、また、来園者数に影響が出ないような対策についてはどうか

10 市長の政治姿勢について

(1) 2期7年半を振り返り、他の自治体に負けない自信を持っている取り組みはあるのか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 次の世代に引き継ぐ元気な秋田市について
- (2) 県と市の連携のあり方について
- (3) 本市における久保田城の位置づけと役割について

2 新・県都『あきた』改革プランについて

- (1) 観光文化スポーツ部及び産業振興部設置による成果と取り組みについて
- (2) 秋田市財政調整基金及び秋田市減債基金の推移と今後の考え方について
- (3) 秋田市公共施設等整備基金活用の基本方針について
- (4) 新たな統一基準による地方公会計制度の導入における取り組みと課題について

3 中心市街地と地域のまちづくりについて

- (1) 新・県都『あきた』成長プラン及び第2期秋田市中心市街地活性化基本計画の「まちづくり」の理念について
- (2) 県・市連携文化施設の整備、旧県立美術館の利活用、千秋公園の再整備及び佐竹史料館の改築、それぞれの関連性と今後の方針について
- (3) 各駅周辺の整備を含めたバスと電車による公共交通ネットワークづくりについて

4 新・県都『あきた』成長プランについて

- (1) 貿易と物流の拡大における地元企業の海外進出への連携について
- (2) 交流人口の拡大によるにぎわい創出の取り組みについて
- (3) 修学旅行誘致の取り組みについて
- (4) キャンプ地誘致のためのフィジー共和国訪問の成果と今後の取り組みについて

5 市民の安全・安心等について

- (1) 雄物川の下流部における堤防の整備計画について
- (2) 教職員に対する防災教育について
- (3) 児童・生徒の安全対策について
- (4) 東日本大震災の鎮魂と復興を願い開催された「東北六魂祭」の継続に関する協議の経過と今後の方向について

6 農業振興について

- (1) 経営所得安定対策も含め、国による米の生産調整廃止への対応について

7 教育行政について

- (1) 小中一貫した考えに立った教育を目指すとする雄和小学校の現状と今後の取り組みについて
- (2) 雄和地域の廃校舎利活用の現状と今後の取り組みについて

1 市長の政治姿勢について

- (1) 3期目を担うとすれば、どのようなビジョンを持って本市のまちづくりを行うのか
- (2) 公共施設等の保有の適正化に向けて、どのように考えているのか
- (3) 職員のやる気を引き出すための職場環境と職員の管理について、どのように考えているのか
- (4) 国際定期便がゼロの状態となっているが、ソウル便の復活など秋田への海外からの観光客誘致に力を注ぐべきではないか

2 平成29年度当初予算と今後の財政見通し等について

- (1) 当初予算において、人口減少対策はどのように反映させていくのか
- (2) 当初予算は、秋田市公共施設等総合管理計画を反映した予算編成となるのか
- (3) 臨時財政対策債をどのように見込んでいるのか、また、今後の市債残高の見込みはどうか

3 中心市街地のまちづくりについて

(1) 県・市連携文化施設等の整備について

ア 県・市連携による整備においては、県と市は対等な立場であるべきと思うが、市としての主体性をどのように反映させているのか、また、市は、芸術文化ゾーンの形成及び同ゾーンとその周辺部との連携を図っていく必要もあるが、どのような将来のまちづくりを考えているのか

イ 駐車場整備に関する経費及び整備予定地の賃借の考え方は、どのようになっているのか、また、駐車場への車両動線をどう考えているのか

ウ 駐車場整備予定地を含めた施設配置の見直しは考えられないのか

エ 旧県立美術館の利活用及び文化会館の解体も含めた県・市それぞ

れの実質負担額の比較は、現段階ではどのように想定されるのか

(2) 旧県立美術館の利活用について

ア 旧県立美術館の利活用についても、整備費を含め県・市が連携して取り組むべきと考えるがどうか

イ 県・市連携文化施設と（仮称）芸術文化交流施設の機能の関連性はどうか

(3) 第1期秋田市中心市街地活性化基本計画と第2期計画との大きな違いは何か、また、第2期計画にある事業を実施した場合、中心市街地はどのようなまちになるとイメージしているのか

(4) 仲小路に大屋根を建設する考えはないか

(5) 県・市連携文化施設の整備に伴い、中心市街地への交通アクセスのあり方を見直す必要があると思うがどうか

(6) エリアなかいちの商業エリアにおける各店舗の経営状況をどうとらえているのか、また、中心市街地はにぎわい創出などの面で当初の目的を達成していると考えているのか

4 危機管理体制について

(1) 鳥インフルエンザについて

ア 鳥インフルエンザが市内の養鶏場で発生した場合、だれがどのような対応をするのか

イ 鳥インフルエンザウイルスが変異し、人に感染するようになった場合、だれがどのような対応をするのか

(2) 北朝鮮から弾道ミサイルが発射され本市へ落下する可能性がある場合、だれがどのような対応をするのか

(3) 爆破予告事案が発生した場合、だれがどのような対応をするのか

5 除排雪について

(1) 今冬の道路除排雪体制についてはどうか

6 福祉行政について

(1) 障害者差別解消法について

ア 「障がいを理由とする差別の解消の推進に関する秋田市職員対応要領」の策定後、職員へ周知され意識啓発が行われているのか

イ 同法を受けて、障がい者の人権を守るという理念を明確にするため「障がい者と健常者がともに暮らすやさしい街秋田市条例」を制定すべきと思うかどうか

(2) 平成29年度より新規に導入する予定である介護予防・日常生活支援総合事業を、本市としてどのように展開していくのか

7 教育行政について

(1) 小中学校のいじめ対策について

ア いじめの状況とその取り組みについて

イ 秋田市いじめ防止対策推進条例を制定すべきと思うかどうか

(2) 秋田公立美術大学附属高等学院について

ア 同学院を高等学校に移行させる考えはないか

イ 同学院を公立大学法人秋田公立美術大学の附属学校に移管できないか

(3) 小中学校教職員の多忙化の原因を明らかにし、改善するための対応策は講じられているのか

8 スポーツ施策について

(1) はずむスポーツ都市宣言から10周年の節目を迎える平成29年度に、各種記念事業を実施してはどうか

(2) 複合的な機能を組み合わせたスポーツ施設の整備を検討するべきと思うかどうか